

Marcela Present's 徳島聖テモテ教会から愛をこめて

も テモテ通信

Vol.12 2022 Christmas 号



Merry Christmas♡

12月に入った途端、とても寒くなりましたね。12月22日から23日にかけては、徳島市では106年ぶりの積雪がありました！☺暖かくお過ごしでしょうか。

2022年は、2月にロシアのウクライナ侵攻が始まり、それにより世界的に経済が悪化する中、未だにコロナウイルス感染も収束せず、戦争も収まらず、辛く苦しい1年だったかもしれません。

それでも、クリスマスはやってきました。すべての人を照らすための「世の光」として、主イエスは誕生しました。

誰一人として取りこぼすことなく、世界中すべての人々に、愛と平和と希望がありますように。

We wish you a very merry Christmas!



テモテ教会 より

☆10月16日(日) 主教巡回

今年も、小林尚明主教と恵子さんがお越しになりました。聖餐式を終えたあと、ランバス会議の報告をスライドを使っていただきました。



☆11月11日(金) 奈良基督教会の方々来訪

奈良基督教会（京都教区）の方々19名が訪問してくださり、一緒に朝の礼拝をしました。久々に礼拝堂が一杯になりました。奈良基督教会のYoutubeに出演中のイエースくんに出会えたのも、嬉しかったです。

Youtube、奈良基督教会で検索！



☆12月1日(木) 河田晴子さん・柳本正一さん逝去記念墓参の祈り

2021年12月15日に逝去された河田晴子さん、2018年6月1日に逝去された柳本正一さんの逝去記念墓参の祈りを、河田さんのお嬢さんお二人とお連れ合い、柳本陽子さんとしてきました。



☆オンライン礼拝

zoomで礼拝に参加できます。

ミーティングID 864 7089 7046 パスコード 481359



zoom

☆ひかりカフェ

毎月第1日曜日の礼拝後、「教会の今後を考える会(仮)」として話す時間を持ち始めましたが、名称が「ひかりカフェ」に決まりました。

追悼 ペテロ古本真二郎さん



わたしたちの敬愛する真二郎さんは、2022年12月22日23時20分、逝去されました。23日朝、鴨島のご自宅に伺いお顔を拝見すると、お父様の正夫司祭、お兄様の純一郎主教に良く似ていらっしゃいました。

通夜は行わず、葬送式だけ24日午後1時に行うことになりました。クリスマスなので、お花のしつらえも、クリスマスの赤と緑でシックに作ってもらうことになりました。24日、セッティングを終えた礼拝堂はとても美しく、真二郎さんは旅立ちもお洒落でした。

葬送式の開式は5分ほど遅れましたが、たくさんクリスマスキャロルを演奏することができました。

今回、個人でなさっている葬儀屋さんをお願いしたのですが、ご家族にも、わたしたちにも満足のいく葬送式でした。そして、その葬儀さんは夜の

クリスマスイブ礼拝、翌日25日のクリスマス礼拝にもご参列くださったのでした！

宮田せんせえの説教にあったように、真二郎さんは生前、イエスと同じように「医療」「教育」「食」を提供されてきました。亡くなられたあとも、宣教のチャンスをお作りになるとは、本当に敬服してしまいます。

コロナ禍前、テモテ教会で行われた「大人会」で、『Tim Tam』というチョコレートビスケットをストローのようにしてコーヒーを飲む、というのを、ギャラリーがワイワイ言う中トライする真二郎さんの動画が残っていました。写真はその動画から切り取った物です。

インマヌエル教会で今は不定期に行われている「がんカフェ」では、「どこで死をむかえるか」とか「ガン告知」とか、わたしたちが「いのち」について考えるヒントを出してくださいました。

わたしより、テモテ教会の皆さん、インマヌエル教会の皆さんの方がたくさんの思い出をお持ちだと思います。思い出話をしていると、その後ろを口笛吹きながら真二郎さんは通って行かれるのではないか、そんな気になってしまいます。古本真二郎さんの霊魂の平安を心からお祈りいたします。

みやた せんせえ より

「イギリス式花あしらい」と「フランス式花あしらい」

18才の頃、まだ日本経済がバブル真っ盛りの頃にフラワーアレンジメントのお店で働いていました。飛ぶようにフラワーアレンジメントが売れていき、100本の真っ赤なバラの花束が売っていた時代です。

関東一円に教室を持っていて「フランス式花あしらい」というスタイルでさまざまなお店のディスプレイを飾っていました。アルバイトの私も先生方の見よう見まねでさまざまなお店のディスプレイを飾っていました。銀座ワシントン靴店本店のディスプレイを飾っていたのはとても良い思い出です。



1992年 宮田せんせえ 21歳

当時のフランス式アレンジメントは、お花をたっぷり使って、パステルカラーのような色味で空間をしっかりと埋めていくようなカラフルに彩られたアレンジメントを作ることが多かったように思います。また繊細な蔓系のグリーンをフワッと流すようなスタイルも流行っていました。

バブル崩壊後は花の需要が落ち込み、華やかなアレンジメントから、穏やかな雰囲気好まれるようになってきたように見えました。その後ガーデニングの流行もあり、イギリス式フラワーアレンジメントが注目されるよ

うになってきました。イギリス式フラワーアレンジメントの特徴は、グリーンをたっぷり使ったガーデニングのようなアレンジメントが特徴です。シックな印象を持ちながらもしっかりとお花に主張をさせつつ、それでいて気品のある華やかさが魅力です。

12月24日に信徒さんのご葬儀がありました。クリスマスらしいお花でお見送りしたいとご家族の希望があり、イギリスでフラワーアレンジメントを学ばれたお花屋さんに装飾をお願いしました。ご家族の希望を伝えるとともに、これまでに経験したことのないような美しいご葬儀を想像しながら、お花屋さんと一緒に装飾の打合せを行いました。白を基調にしなくてもよいこと、しっかりと腕を振るって欲しいこと、クリスマスらしいお花を希望していることなどなど。お花屋さんからも色々とアイデアを提案してくださり、素晴らしいお花が礼拝堂に飾られました。

私もお花屋さんもアレンジメントについては共通理解がありましたので、とても気持ちよく打合せができ、想像を超えるとても素晴らしく美しい葬儀になりました。

ご家族の方もとても感動してくださり、葬儀の前にご家族揃って柩の周りに集まってお写真を撮るほど喜ばれました。

私のフランス式花あしらいは、教えてくださった先輩が草月流の師範でもありましたので、フランス式+草月流の、点と線を基調としつつお花で空間を埋めていくスタイルのアレンジでした。あれから30年経ちこのように経験が用いられるようになるとは思ってもみませんでした。スティーブジョブスがかつて大学でスピーチした内容ではありませんが、将来を見据えて経験を積むことは難しいですけれども、人生のどこかでこの経験がつながっていくことを信じることによって、自分の経験が無駄ではない事に気がつかされます。エリザベス女王の葬儀に負けず劣らずの素晴らしい葬儀ができたのではないかと、徳島の小さな教会から天に向かって感謝の祈りを捧げています。



1年は、本当にあっという間ですね。長男を妊娠中、バスで隣り合わせたおばあちゃんが、「わたしにもね、この前孫が生まれたの。この前生まれたかと思っていたら、もう大学生になっちゃったのよ。」と話しかけてこられ、「大袈裟だな」って思っていたのですが、本当のことでした！子どもだと思っていた次男は成人してしまったし、「ちっちゃいくん」と呼んでいた四男はすでにわたしより背が高く、声も低くなっています。

光陰矢のごとしとは言いますが、神さまの愛を感じながらなるべくのんびり過ごしていきたいと思います。

どうぞ、よいお年をお迎えください。

マルセラ宮田美樹

2022/12/28発行